資料1

（1） 平成29年度実績報告について

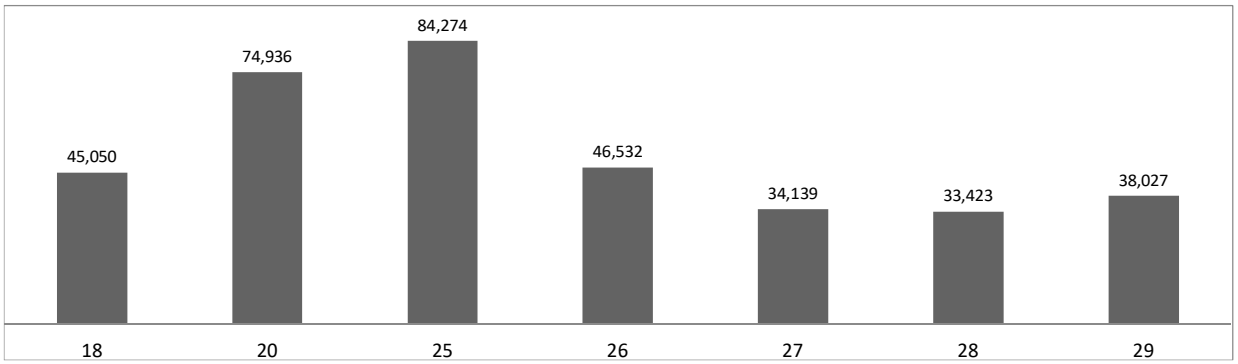
Ⅰ 地域包括支援センター相談状況について

1．平成29年度　地域包括支援センター相談統計（平成29年4月～平成30年3月）

件数		菊かおる園	東部	中央	ふくろうの杜	豊島区医師会	いけよんの郷	アトリエ村	西部	合計
（65歳以上）高齢者人口	高齢者人口（高齢化率）	7,602	8,067	7,493	6,365	5,870	5,733	8,105	8,363	57,598
		(21.6%)	(20.9%)	(18.0%)	(18.7%)	(17.5%)	(18.8%)	(22.6%)	(22.2%)	(20.1%)
	高齢者人口全体に対する割合	13.2%	14.0%	13.0%	11.1%	10.2%	10.0%	14.1%	14.5%	100.0%
相談方法	来　所	1,997	2,397	1,141	1,415	1,193	1,247	1,873	2,165	13,428
	電　話	2,273	2,318	2,506	2,014	3,829	656	2,042	2,117	17,755
	訪　問	1,048	1,142	527	779	858	380	770	521	6,025
	メール・郵送・FAX	39	48	36	12	318	5	11	17	486
	その他(休日夜間相談含む)	22	24	23	23	131	15	48	47	333
	計	5,379	5,929	4,233	4,243	6,329	2,303	4,744	4,867	38,027
主たる相談者	本　人	1,269	1,398	822	1,378	1,505	460	1,136	905	8,873
	家族等	1,213	1,286	1,031	947	1,248	509	1,087	1,395	8,716
	地域住民	407	274	294	237	257	220	232	246	2,167
	ケアマネジャー	984	1,261	687	646	940	536	896	814	6,764
	関係機関	1,489	1,691	1,378	1,014	2,359	563	1,343	1,484	11,321
	その他	17	19	21	21	20	15	50	23	186
	計	5,379	5,929	4,233	4,243	6,329	2,303	4,744	4,867	38,027

※高齢者人口は平成30年1月1日現在

2. 地域包括支援センターの相談件数の推移（平成18年度～平成29年度）



地域包括支援センターの相談件数を開設当初から示した。
平成26年7月から集計内容及び方法を徹底したことにより、相談件数が大幅に減少している。

3. 相談内容延べ件数の推移

年度	18(包括開設年)	20	25	26	27	28	29
介護保険	17,275	27,064	30,202	24,029	18,416	17,175	20,598
介護予防プラン及び新予防給付プラン関連	16,522	29,032	32,512	8,689	4,125	7,178	6,489
介護予防事業関連	2,163	3,236	3,108	1,600	968	558	479
一般施策（※1）	4,992	6,967	7,603	5,387	4,548	4,089	5,394
医療・看護・保健	2,296	7,509	14,265	11,937	11,164	11,644	12,928
権利擁護	1,130	2,117	3,363	3,040	1,653	1,947	2,498
虐待	319	508	1,357	1,016	909	931	841
生活・経済について（※2）	1,470	3,963	7,388	8,019	8,042	8,046	8,577
障害者制度について	450	476	731	703	311	235	207
介護保険と一般施策以外のサービスに関する相談（在宅サービス）	1,187	2,518	3,439	3,332	2,030	2,473	3,619
その他（※3）	3,215	6,640	5,726	3,939	4,020	4,019	5,611
認知症(※4)				3,591	4,065	3,951	4,584
計	51,019	90,030	109,694	75,282	60,251	62,246	71,825

※1　紙おむつ支給，おむつ購入費助成，福祉電話の貸出し，緊急通報システム，火災安全システム，寝具乾燥，出張理美容，
　　生活支援型ホームヘルプサービス，徘徊探知機，自立支援住宅改修，車椅子短期貸出の相談・申請・苦情
※2　生活保護，アパート立ち退き，ごみ，相隣関係，住まい（介護保険外の施設，養護老人ホーム，安心住まい等）
※3　苦情，関係機関からの情報提供（実態調査票の受け渡しなど）
※4　平成26年7月より集計開始

4.平成29年度　アウトリーチ事業相談統計（平成29年4月～平成30年3月）

件数		菊かおる園	東部	中央	ふくろうの杜	豊島区医師会	いけよんの郷	アトリエ村	西部	合計
高齢者人口（65歳以上）	高齢者人口（高齢化率）	7,602	8,067	7,493	6,365	5,870	5,733	8,105	8,363	57,598
		(21.6%)	(20.9%)	(18.0%)	(18.8%)	(17.5%)	(18.8%)	(22.6%)	(22.2%)	(20.1%)
	高齢者人口全体に対する割合	13.2%	14.0%	13.0%	11.1%	10.2%	10.0%	14.1%	14.5%	100.0%
相談方法	来　所	1,062	1,202	782	512	685	856	1,611	1,298	8,008
	電　話	505	477	467	158	770	448	483	453	3,761
	訪　問	587	573	465	545	456	724	416	285	4,051
	その他	3	78	10	5	152	20	33	15	316
	計	2,157	2,330	1,724	1,220	2,063	2,048	2,543	2,051	16,136
主たる相談者	本　人	692	888	238	567	792	921	689	513	5,300
	家族	339	234	258	76	226	199	400	325	2,057
	近隣・知人	66	10	30	16	45	31	49	31	278
	行政関係者	45	74	107	31	133	97	66	83	636
	関係機関	322	196	147	30	182	173	319	209	1,578
	民生・児童委員	687	902	569	493	651	617	1,007	876	5,802
	見守りボランティア等	1	3	151	2	6	5	3	3	174
	その他	5	23	224	5	28	5	10	11	311
	計	2,157	2,330	1,724	1,220	2,063	2,048	2,543	2,051	16,136

※　高齢者人口は、平成30年1月1日現在

5.平成29年度　地域包括支援センター事業実績（平成29年4月～平成30年3月）

件数			菊かおる園	東部	中央	ふくろうの杜	豊島区医師会	いけよんの郷	アトリエ村	西部	合計
包括的支援事業	訪問による実態把握延べ件数		1,048	1,142	527	779	858	380	770	521	6,025
	二次予防事業対象者プラン作成件数（セルフプラン）		－	－	－	－	－	－	－	－	0
	ケアマネジャー相談実件数※		984	1,261	687	646	940	536	896	814	6,764
	個別ケース検討会議開催回数		23	49	42	25	11	11	41	3	205
	地区懇談会開催回数		3	12	12	4	4	2	20	11	68
	出張相談等開催回数		0	29	23	12	15	24	5	24	132
	地域における会議体への出席回数		33	39	25	16	7	49	29	26	224
	地域活動への参加（会議以外）		8	17	5	4	15	31	5	20	105
介護予防支援事業	予防給付プラン3月請求件数		**140**	**160**	**109**	**102**	**94**	**103**	**155**	**139**	**1,002**
	包括作成・委託別内訳	包括作成件数	68	73	52	55	39	40	66	46	439
		委託件数	72	87	57	47	55	63	89	93	563
第1号介護予防支援事業	予防ケアマネジメント3月請求件数		**143**	**132**	**124**	**94**	**135**	**78**	**154**	**165**	**1,025**
	包括作成・委託別内訳	包括作成件数	81	67	55	54	61	34	77	63	492
		委託件数	62	65	69	40	74	44	77	102	533

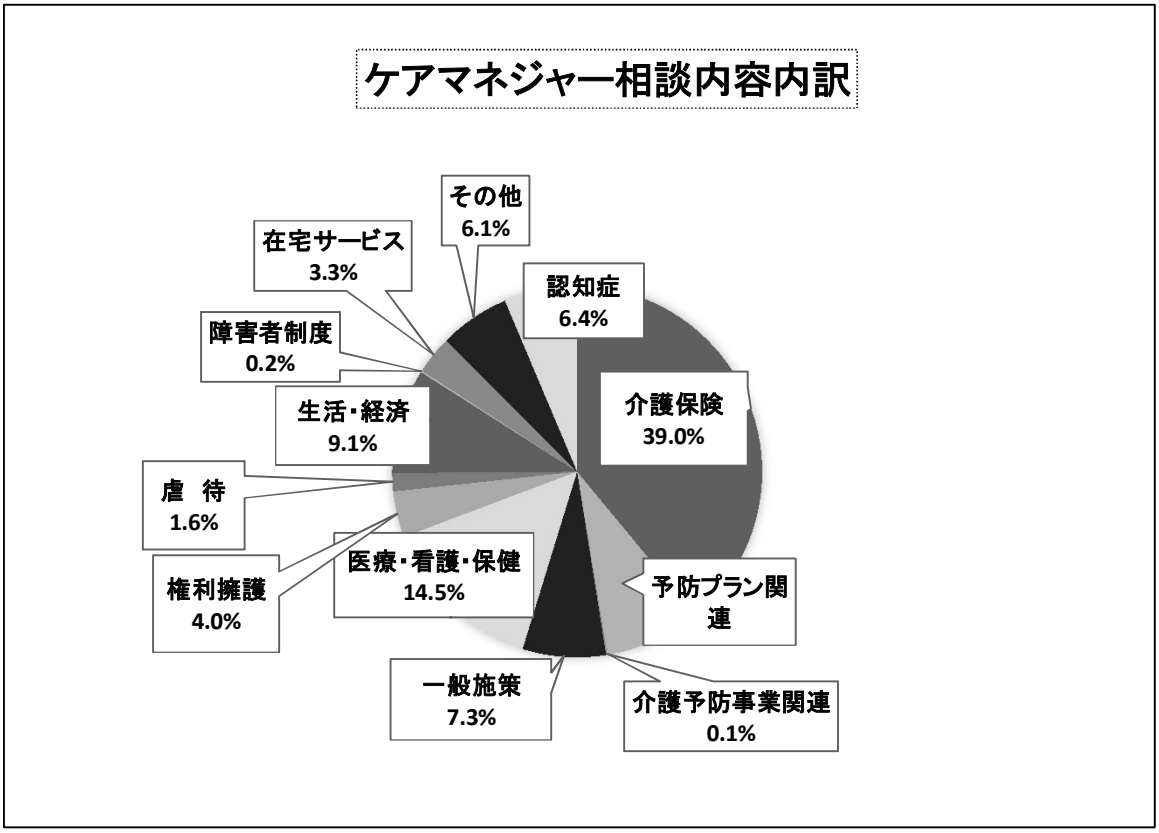
※ケアマネジャー相談件数は、平成28年度より実情に合わせて実件数とした

6.包括的・継続的ケアマネジメント支援について（平成29年度）

（1）ケアマネジャー相談件数

総合相談のうち、主たる相談者がケアマネジャーからの相談件数。

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
ケアマネジャー相談件数	508	517	577	533	609	553	547	529	619	559	554	659	6,764



（2） 研修企画及び介護支援専門員の支援体制について

平成28年度末より「豊島区介護支援専門員研修企画委員会」と「豊島区主任介護支援専門員育成委員会」を立ち上げた。居宅介護支援事業所の主任介護支援専門員は研修企画による支援、高齢者総合相談センターは主任介護支援専門員の要件を満たすための研修を実施するなどして主任介護支援専門員の育成環境の整備支援を行っている。

（3）平成29年度の研修（高齢者福祉課実施分）

企画委員会で設定した「聞くこと・伝えること・調整することを強化する」というテーマに基づき下記の5つの研修を企画し高齢者福祉課で実施した。

「リ・アセスメントシートの活用①～ツールの構造を理解する」
「リ・アセスメントシートの活用②～利用者・家族の良き理解者になるために」
「ケアマネジメントにおける0JT・スーパービジョンの役割」
「根拠に基づく利用者らしいケアプラン作成～ケアプラン第2表、目標設定を中心に」
「サービス担当者会議の進め方～合意形成・ファシリテーション能力の向上」

このほか、再委託の要件である「介護予防支援計画等作成研修」も実施し、のべ532名が受講した。

(4)平成29年度研修(地域包括支援センター実施分)

育成委員会では、「リ・アセスメントシートの活用～ケアマネの判断」研修をセンター合同開催により同内容で4回実施。運営の参加により主任介護支援専門員研修の受講要件、講師・ファシリテーター、受講生としての参加により更新研修の受講要件を満たすことで、区内全域で主任介護支援専門員の育成に必要な機会を提供できた。のべ117名受講。

Ⅱ運営事業委託実施報告・実施計画

1．平成 29 年度実績報告

(1) 委託事業所 8 事業所

① 菊かおる園地域包括支援センター　(社会福祉法人　豊島区社会福祉事業団)
② 東部地域包括支援センター　(社会福祉法人　豊島区社会福祉事業団)
③ 中央地域包括支援センター　(社会福祉法人　豊島区民社会福祉協議会)
④ ふくろうの杜地域包括支援センター　(社会福祉法人　敬心福祉会)
⑤ 豊島区医師会地域包括支援センター　(公益社団法人　豊島区医師会)
⑥ いけよんの郷地域包括支援センター　(社会福祉法人　フロンティア)
⑦ アトリエ村地域包括支援センター　(社会福祉法人　豊島区社会福祉事業団)
⑧ 西部地域包括支援センター　(社会福祉法人　フロンティア)

(2) 執行状況

平成 29 年 4 月 1 日　運営法人と委託契約・申請書受付委託契約締結
平成 29 年 4 月　上半期概算払委託料執行
平成 29 年 10 月　下半期概算払委託料執行
平成 30 年 3 月末　概算払委託料清算
平成 30 年 3 月末　申請書受付委託料執行

(3) 委託料予算額及び執行額

30 年度	金額	内訳	備考
予算	274,071,000 円		
執行額	270,633,894 円	（@35,959,760+@111,600） ×4 事業所　＝144,285,440 円 （@34,459,760+@111,600） ×1 事業所　＝34,571,360 円 （@32,522,774+@111,600） ×1 事業所　＝32,634,374 円 （@30,959,760+@111,600） ×1 事業所　＝31,071,360 円 （@27,959,760+@111,600） ×1 事業所　＝28,071,360 円	
執行残	3,437,106 円		執行率 98.7%

２．平成 30 年度実施計画

（1）　委託事業所 8 事業所

① 菊かおる園地域包括支援センター　　(社会福祉法人　豊島区社会福祉事業団)
② 東部地域包括支援センター　　(社会福祉法人　豊島区社会福祉事業団)
③ 中央地域包括支援センター　　(社会福祉法人　豊島区民社会福祉協議会)
④ ふくろうの杜地域包括支援センター　　(社会福祉法人　敬心福祉会)
⑤ 豊島区医師会地域包括支援センター　　(公益社団法人　豊島区医師会)
⑥ いけよんの郷地域包括支援センター　　(社会福祉法人　フロンティア)
⑦ アトリエ村地域包括支援センター　　(社会福祉法人　豊島区社会福祉事業団)
⑧ 西部地域包括支援センター　　(社会福祉法人　フロンティア)

(2)　執行状況及び執行計画

平成 30 年 4 月 1 日　　運営法人と委託契約（申請書受付委託分を含む）
平成 30 年 4 月　　上半期概算払委託料執行
平成 30 年 10 月　　下半期概算払委託料執行
平成 31 年 3 月末　　概算払委託料清算

(3)　委託料予算額

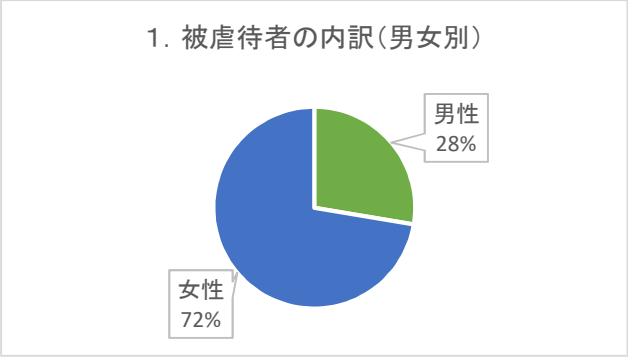
30 年度	金額	内訳	備考
予算額	274,716,000 円	@36,152,000×5 事業所＝180,760,000 円 @34,652,000+×1 事業所＝34,652,000 円 @31,152,000+×1 事業所＝31,152,000 円 @28,152,000×1 事業所＝28,152,000 円	※平成 30 年度より運営法人との委託契約は、申請書受付委託契約が含まれる契約に変更した。

Ⅲ平成29年度高齢者虐待受理状況（地域包括支援センター等から受理した件数）

平成30年3月末現在

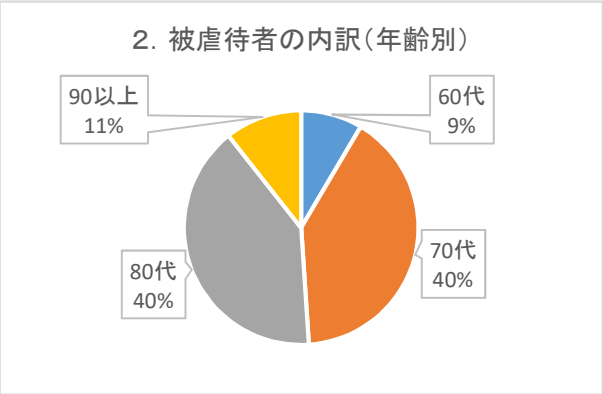
1.被虐待者の内訳（男女別）

	件数	割合
男性	13	28%
女性	34	72%
合計	47	



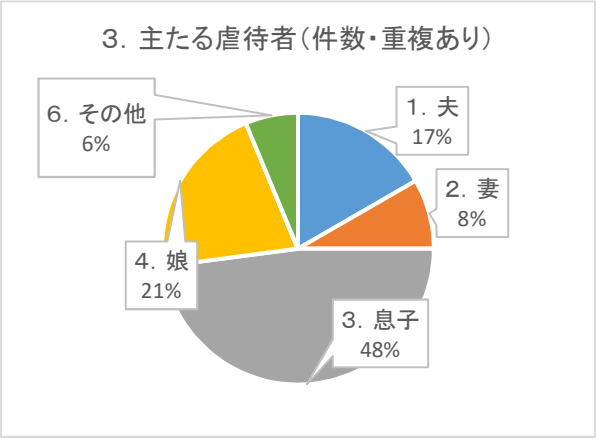
2.被虐待者の内訳（年齢別）

	件数	割合
60代	4	9%
70代	19	40%
80代	19	40%
90以上	5	11%
合計	47	



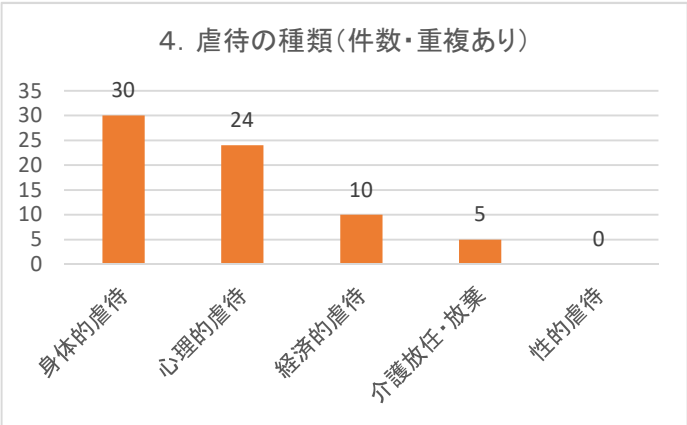
3.主たる虐待者（件数・重複あり）

	件数	割合
1. 夫	8	17%
2. 妻	4	8%
3. 息子	23	48%
4. 娘	10	21%
5. 子の配偶者	0	0%
6. その他	3	6%
合計	48	



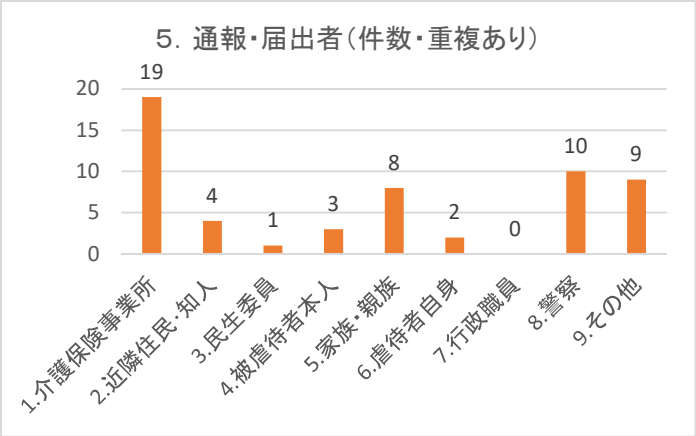
4.虐待の種類（件数・重複あり）

身体的虐待	30
心理的虐待	24
経済的虐待	10
介護放任・放棄	5
性的虐待	0



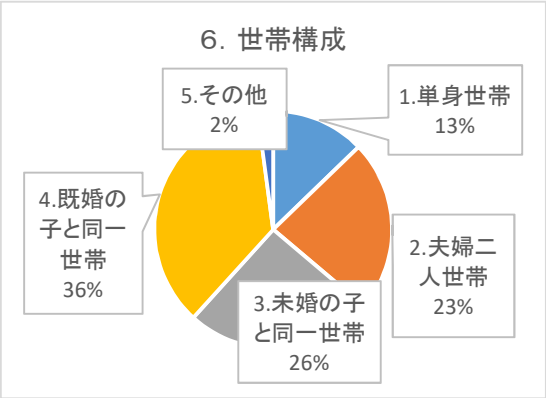
5. 通報・届出者（件数・重複あり）

	件数
1.介護保険事業所	19
2.近隣住民・知人	4
3.民生委員	1
4.被虐待者本人	3
5.家族・親族	8
6.虐待者自身	2
7.行政職員	0
8.警察	10
9.その他	9



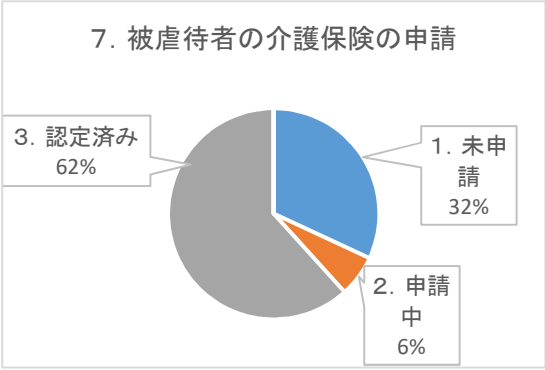
6. 世帯構成

	件数	割合
1.単身世帯	6	13%
2.夫婦二人世帯	11	23%
3.未婚の子と同一世帯	12	26%
4.既婚の子と同一世帯	17	36%
5.その他	1	2%
合計	47	



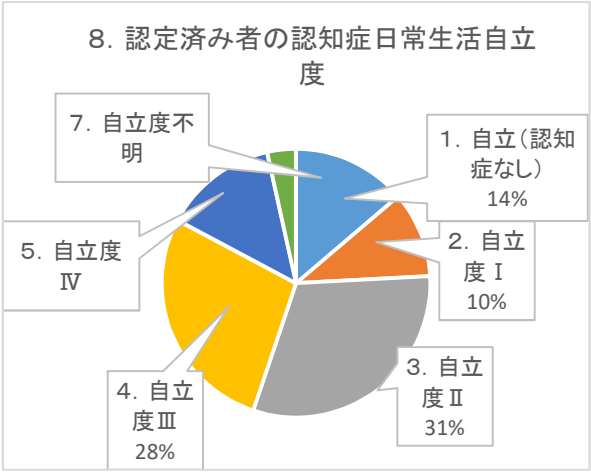
7. 被虐待者の介護保険の申請

	件数	割合
1. 未申請	15	32%
2. 申請中	3	6%
3. 認定済み	29	62%
4. 認定非該当	0	0%
5. 不明	0	0%
合計	47	



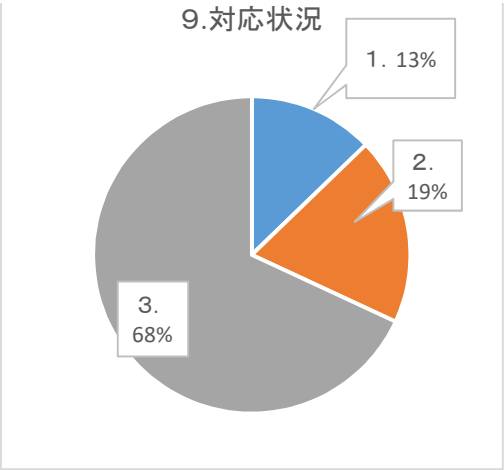
8. 認定済み者の認知症日常生活自立度

	件数	割合
1. 自立（認知症なし）	4	14%
2. 自立度Ⅰ	3	10%
3. 自立度Ⅱ	9	31%
4. 自立度Ⅲ	8	28%
5. 自立度Ⅳ	4	14%
6. 自立度M	1	3%
7. 自立度不明	0	0%
合計	29	



9. 対応状況

	件数	割合
1. 虐待判断の段階で既に分離されていた事例	6	13%
2. 分離を行った事例	9	19%
3. その他	32	68%
合計	47	



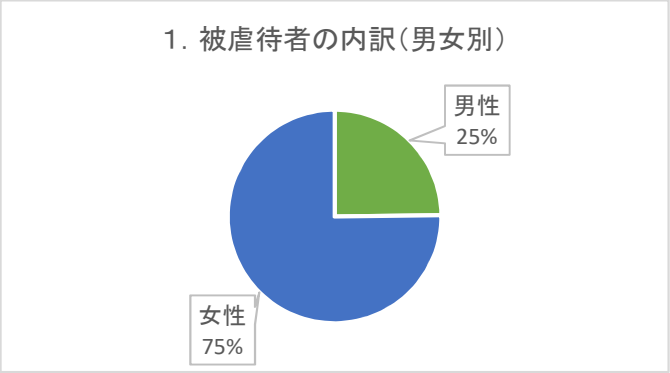
※内訳（重複あり）

	件数
養護者に対する助言	12
養護者が介護負担軽減のための事業に参加	3
新たに介護保険サービスを利用	3
介護保険サービスのケアプランの見直し	12
介護保険サービス以外のサービスを利用	0
経過観察（見守り）	9
その他	4

【参考】平成28年度東京都高齢者虐待の対応状況等調査結果

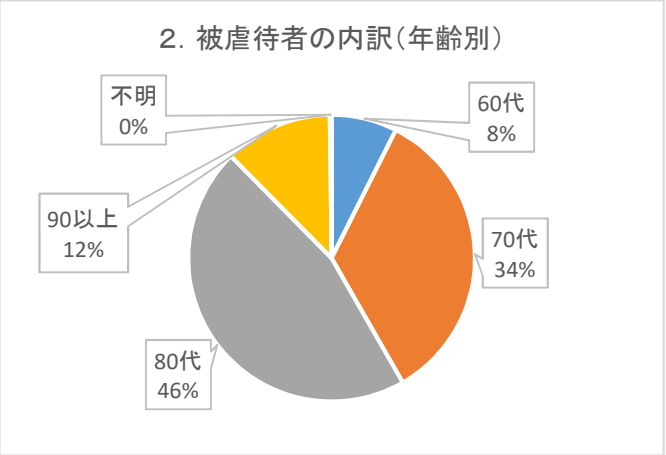
1.被虐待者の内訳（男女別）

	件数	割合
男性	617	25%
女性	1,869	75%
合計	2,486	



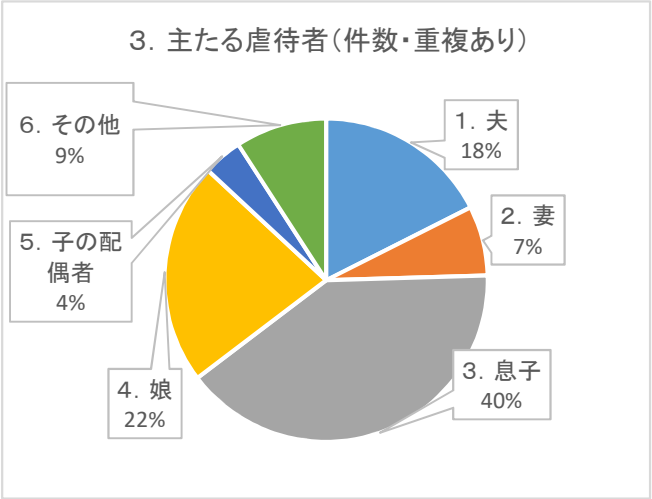
2.被虐待者の内訳（年齢別）

	件数	割合
60代	184	7%
70代	853	34%
80代	1,141	46%
90以上	303	12%
不明	5	0.2%
合計	2,486	



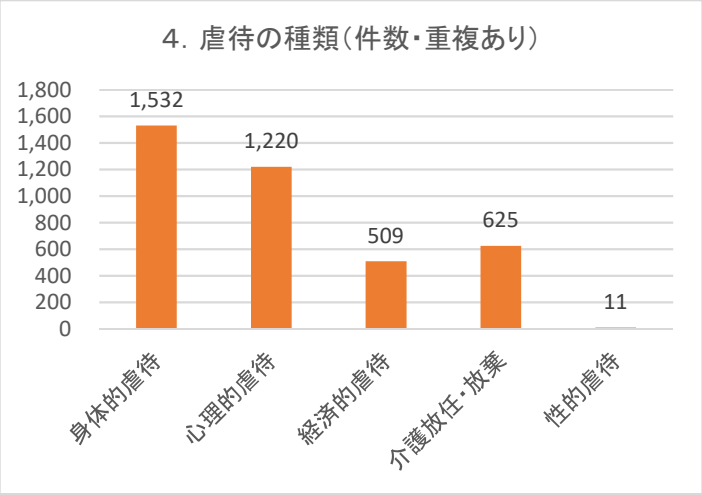
3.主たる虐待者（件数・重複あり）

	件数	割合
1. 夫	459	18%
2. 妻	182	7%
3. 息子	1,049	40%
4. 娘	582	22%
5. 子の配偶者	103	4%
6. その他	239	9%
合計	2,614	



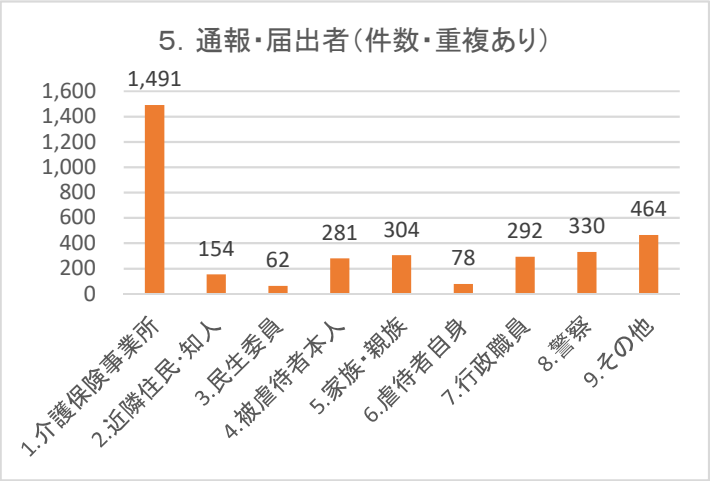
4.虐待の種類（件数・重複あり）

身体的虐待	1,532
心理的虐待	1,220
経済的虐待	509
介護放任・放棄	625
性的虐待	11



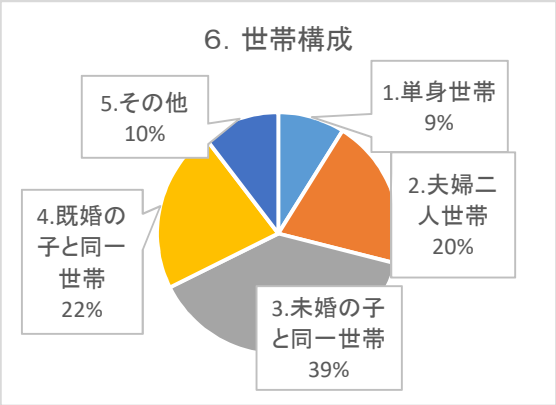
5. 通報・届出者（件数・重複あり）

	件数
1.介護保険事業所	1,491
2.近隣住民・知人	154
3.民生委員	62
4.被虐待者本人	281
5.家族・親族	304
6.虐待者自身	78
7.行政職員	292
8.警察	330
9.その他	464



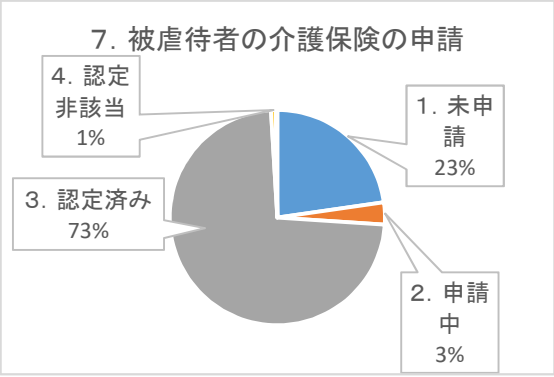
6. 世帯構成

	件数	割合
1.単身世帯	221	9%
2.夫婦二人世帯	499	20%
3.未婚の子と同一世帯	962	39%
4.既婚の子と同一世帯	546	22%
5.その他	258	10%
合計	2,486	



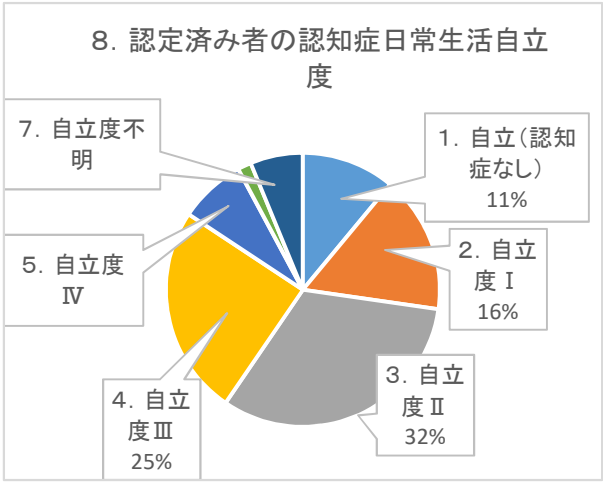
7. 被虐待者の介護保険の申請

	件数	割合
1. 未申請	565	23%
2. 申請中	82	3%
3. 認定済み	1,815	73%
4. 認定非該当	18	1%
5. 不明	6	0.2%
合計	2,486	



8. 認定済み者の認知症日常生活自立度

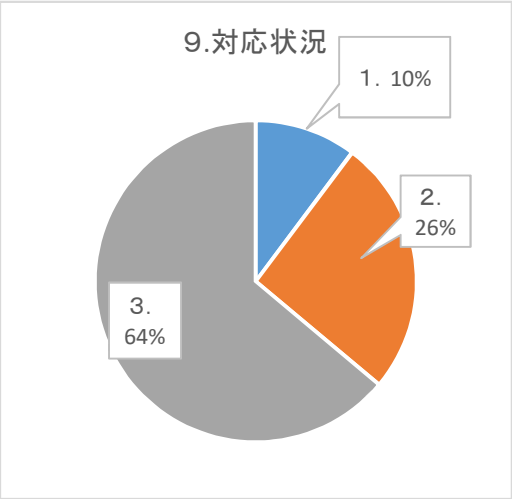
	件数	割合
1. 自立（認知症なし）	200	11%
2. 自立度Ⅰ	295	16%
3. 自立度Ⅱ	586	32%
4. 自立度Ⅲ	449	25%
5. 自立度Ⅳ	143	8%
6. 自立度M	29	2%
7. 自立度不明	113	6%
合計	1,815	



9. 対応状況

	件数	割合
1. 虐待判断の段階で既に分離されていた事例	347	10%
2. 分離を行った事例	877	26%
3. その他	2,168	64%
合計	3,392	

*前年度受理し、対応が28年度となった事例を含む



※内訳（重複あり）

	件数
養護者に対する助言	964
養護者が介護負担軽減のための事業に参加	46
新たに介護保険サービスを利用	184
介護保険サービスのケアプランの見直し	504
介護保険サービス以外のサービスを利用	112
経過観察（見守り）	332
その他	671

Ⅳ　地域ケア会議･予防プラン等の状況について

1.豊島区の地域ケア会議について（平成29年度）

地域ケア会議は、「個別課題解決」、「ネットワーク構築」、「地域課題発見」、「地域づくり・資源開発」、「政策形成」など様々な機能を持ち、その機能が作用し合い、循環しながら地域包括ケアを推進していくことができます。高齢者個人に対する支援の充実と、地域包括ケアシステムの体制の整備を同時に進めることができる有効なツールです。

豊島区では、平成２７年度以前から行っている会議体を再編成し、地域ケア会議を開催しています。

平成３０年度（２０１８）年度からは、個別課題解決・自立支援のための「地域ケア個別会議」と地域課題と区の課題に対応する「地域ケア推進会議」に大別し、開催していきます。

（1）地域ケア個別会議

地域ケア個別会議は、主に支援困難ケースの課題解決を目的とした「個別会議」と、自立支援・介護予防の観点から多職種が関わり行う「自立支援地域ケア会議」があります。平成２９年度包括主催の「個別会議」は１７８回、「自立支援地域ケア会議」は２７回を開催しています。

（2）地域ケア推進会議

地域ケア推進会議は、各高齢者総合相談センターが、各地域の関係者（民生委員・児童委員、町会、商店会、ケアマネジャー、医療関係者、金融機関、警察、消防、ＣＳＷ等）とともに、「地域ケア個別会議」の中から見つかった地域の課題を共有し、多職種・多機関の連携による包括的な支援や、地域連携、ネットワークづくりを行う、「地区懇談会」と、各地区懇談会で対応策を検討した、地域課題の中から区全体にかかる課題を発見し、対応策を検討する「地域ケア会議全体会議」があります。平成２９年度包括主催「地区懇談会」は、６８回を開催しています。

地域ケア会議全体会議や、地域包括支援センター運営協議会を通じ、検討した課題を政策提言までつなげることで、豊島区地域保健福祉計画、豊島区高齢者福祉計画・介護保険事業計画に施策として反映していきます。これらの地域ケア会議は、「地域の支え合いの仕組みづくり協議会」や「豊島区認知症施策推進会議」、「在宅医療連携推進会議」等、ほかの会議体とも連携していきます。

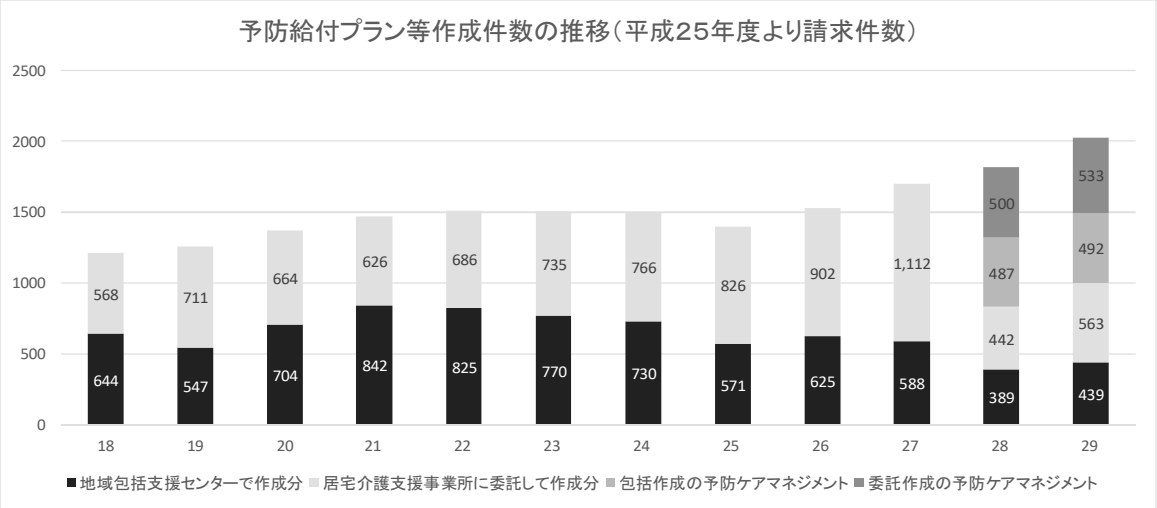
2.センター長連絡会

各包括間のよりスムーズな連携、情報の一元化等を目指して部会等のあり方を見直し、平成27年度新たに設定した、各包括のセンター長を招集する会議。毎月1回、原則AM9:00から2時間30分程度、事務連絡の他、包括全体で打ち合わせを必要とする課題について検討をおこなった。連絡事項、課題に応じて必要な担当者にも出席を依頼した。

回	実施日	内　　容
第1回	4月18日	○介護保険課　認定審査グループより ○豊島区消費生活センターより ○介護保険課（特命担当）より ○地域ケアグループより ○介護予防・認知症対策グループより ○基幹型センターグループより ○事務連絡等
第2回	5月16日	○福祉総務課より ○東京消防庁池袋消防署より ○高齢者事業グループより ○介護予防・認知症対策グループより ○管理グループより ○地域ケアグループより ○総合事業グループより ○高齢者総合相談センター周知チラシについて ○主任介護支援専門員更新研修について ○月報について ○高齢者総合相談センター事業実施方針について
第3回	6月12日	○平成30年度以降に総合事業を実施する指定介護予防サービス事業者について ○介護予防・日常生活支援総合事業　実態調査の実施について ○訪問型サービスB事業（生活支援お助け隊）の利用手順の変更等について ○事務連絡等
第4回	6月8日	○第1回豊島区介護支援専門員研修検討会について ○ 自立支援地域ケア会議について ○介護予防ケアマネジメント・介護予防支援計画作成研修について ○元気はつらつ訪問について ○事務連絡等
第5回	7月18日	○NECソリューションイノベーター（株）より研究事業への協力について ○介護保険課認定審査グループより ○総合事業グループより ○元気はつらつ訪問について ○包括周知チラシ第2弾について ○事務連絡等
第6回	8月15日	○消費生活センターより ○社会福祉法人豊芯会より ○豊島区薬剤師会より在宅訪問服薬支援実習への協力について ○在宅人工呼吸器使用者災害時個別支援計画作成事業委託について ○自殺予防対応マニュアルについて ○認知症対策PTについて ○包括検査・実地指導について ○富士通マーケティング　包括訪問について ○包括周知チラシについて ○元気はつらつ訪問について

回	実施日	内　　容
第7回	9月19日	○富士通マーケティング 包括訪問について ○訪問Bコーディネーターのご紹介 ○総合事業の全件調査結果について ○訪問事業A4の開始に伴うケアプランの取り扱いについて ○介護予防について ○事務連絡
第8回	10月24日	○障害者福祉課より障害者差別解消法について ○介護予防サポーターについて ○総合事業グループより ○元気はつらつ報告会について ○研修受講証明書の発行について ○地域包括支援センターシステム機能紹介
第9回	11月21日	○生活衛生課より地域猫について ○総合事業グループより ○年末年始対応想定者リストの作成について ○介護予防サロンについて ○地域包括支援センターシステムについて ○元気はつらつ訪問について ○介護保険課より申請区分についての再確認について ○平成30年度の豊島区総合事業訪問型サービス事業について
第10回	12月19日	○閉庁時の緊急保護対応について ○健康推進課より感染症トピックスについて ○住宅課 施策推進グループより ○豊島消防署より防火防災診断について ○若年性認知症研修の報告・介護者の会について ○としまる体操について ○包括周知チラシについて ○元気はつらつ訪問について
第11回	1月16日	○広聴はがき設置場所の増設について ○介護保険課介護保険特命担当より ○改正介護保険法について ○第7期介護保険事業計画について ○高齢者の自立支援、重度化防止の取組を支援するための交付金に関する評価指標（案）について ○介護予防サロンについて ○平成30年度の総合事業について ○帳票の改訂について
第12回	2月19日	○豊島区社会福祉事業団より傾聴ボランティアステーションについて ○介護保険課認定調査グループより ○平成30年度予算案重点事業について ○高齢者事業グループより ○総合事業グループより ○平成30年度包括周知チラシについて ○地域ケアグループとの連携に関するヒアリングについて ○介護予防・認知症対策グループより ○地域包括支援センター委託仕様書について
第13回	3月20日	○障害福祉課管理グループより新高額障害福祉サービス等給付費の算定について ○認知症初期集中支援チーム本格実施について ○介護予防事業関係について ○総合事業グループより ○緊急ショートステイについて ○高齢者事業グループより

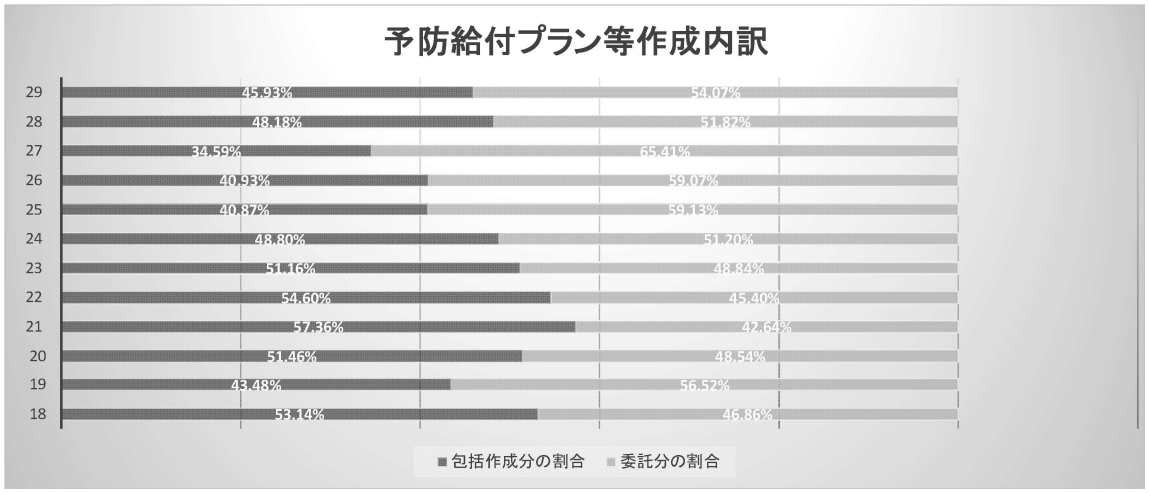
3.予防給付プラン等請求実績について



（注意）作成件数について、従来契約件数を計上していたが、利用者の介護度変更時の事務が煩雑であることから、平成25年度よ
月毎の介護予防支援費報酬請求件数に変更した。契約件数では、サービス開始前の利用者や入退院によるサービス休止中の利用
者の数も含まれていたため、請求件数の方が少なくなっている。

平成２９年度の豊島区予防給付プラン請求件数は、平成３０年３月時点で　１，００２件である。このうち、地域包括支援センター作成が　４３９件（４３．８％）、居宅介護支援事業者に委託しての作成が　５６３件（５６．２％）である。

平成２８年度から総合事業が開始となり、総合事業のみを利用した場合は介護予防ケアマネジメントとなる。また、新規に作成するプランは原則として地域包括支援センターで作成することとなり、委託の割合が平成２７年度から減少している。



Ⅴ　認知症対策について

1．認知症支援事業　実施状況

(1)もの忘れ相談（定期相談）

地域包括支援センター	相談件数	相談経路			年齢				判断	
		本人	家族	その他	65歳未満	65～74歳	75～84歳	85歳以上	認知症認知症疑い	その他
菊かおる園	4	1	1	2	0	1	2	1	2	2
東部	3	1	0	2	0	1	1	1	2	1
中央	1	1	0	0	0	0	0	1	0	1
ふくろうの杜	1	0	0	1	0	0	0	1	0	1
豊島区医師会	3	1	1	1	0	0	2	1	2	1
いけよんの郷	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
アトリエ村	2	1	1	0	0	0	2	0	2	0
西部	3	2	0	1	0	0	2	1	1	2
合計	17	7	3	7	0	2	9	6	9	8

(2)もの忘れ相談（随時対応相談）

地域包括支援センター	相談件数	相談経路			年齢				判断	
		本人	家族	その他	65歳未満	65～74歳	75～84歳	85歳以上	認知症認知症疑い	その他
菊かおる園	7	3	4	1	0	1	2	4	5	2
東部	3	1	1	1	0	1	3	0	3	0
中央	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
ふくろうの杜	1	1	0	0	0	0	1	0	0	1
豊島区医師会	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
いけよんの郷	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
アトリエ村	2	0	0	2	0	0	2	0	1	1
西部	2	0	0	2	0	0	2	0	1	1
合計	15	5	5	6	0	2	10	4	10	5

(3)認知症介護者支援事業・認知症普及啓発（認知症サポーター養成講座、認知症ライフサポート研修）

地域包括支援センター	認知症介護者の会	認知症介護者支援講座	認知症サポーター養成講座	認知症ライフサポート研修
菊かおる園			1回	
東部	12回		1回	
中央	12回			
ふくろうの杜	12回		3回	
豊島区医師会	12回	1回	2回	
いけよんの郷			4回	1回
アトリエ村				
西部	12回	1回	6回	

2. 認知症支援事業について

事業名	事業内容	28年度実績	29年度実績
もの忘れ相談	地域包括支援センターにおいて、「豊島区認知症かかりつけ医」から医師会が選出した相談医が、もの忘れが懸念される高齢者やその家族の相談に応じる。 27年度より、随時対応相談を事業化し開始（豊島区医師会単独では、26年度より実施）	定期相談 11回16名 随時相談 15回15名	定期相談 12回17名 随時相談 15回15名
高齢者こころの相談	認知症状があり、高齢者本人や家族に病識がなく外来受診につながりにくい場合などに、専門の精神科医が場合によっては訪問し、直接本人や家族と面接することで本人の病状の見立てを行うとともに、今後の関わり方への助言を通して早期治療・支援に対応する。	12回 13件	12回 13件
認知症早期診断・早期対応事業	受診を拒否する認知症の疑いのある区民に対し、地域包括支援センターからの要請で認知症コーディネーターと認知症疾患医療センターアウトリーチチームが訪問し、適切な医療や介護サービスにつなげる支援を行う。	5件	4件
認知症介護者等支援事業 **○認知症パンフレット作成**	認知症に関する基礎知識やサービス・相談先等を掲載したパンフレットを作成し、配布している。	5,000部	6,000部
○認知症支援事業	認知症高齢者の介護者が、病気の理解や対応方法、利用できる制度を学ぶとともに、介護者同士の交流によって仲間づくりの機会を提供し、孤立の防止を図る。	3回	3回
○介護者の会	認知症高齢者を介護している方が安心して悩みや不安を話す情報交換の場として、介護者サポーターが運営を支え、地域包括支援センターが地域情報を提供している。	60回 379人	60回 357人
○認知症介護者支援事業 **・介護者の会サポーター連絡会** **・介護者の会サポーターフォローアップ講座**	●「介護者の会」の安定かつ継続的な運営の支援を行うため、介護者サポーター同士の情報交換、相談助言のために連絡会を開催。また、充実したボランティア活動が継続できるよう、ボランティアに関する知識や役割を学びスキルアップを図る。 ●「介護者の会」の安定かつ継続的な運営の支援を行うため、認知症高齢者の支援に関心の高い区民を対象にした介護者を支えるための研修を通じ、家族介護者ボランティアを育成する。	登録25人 連絡会4回 研修会2回	登録23人 連絡会4回 研修会2回
認知症カフェ **（平成28年度から認知症カフェ登録事業・運営補助事業開始）**	認知症の方やその家族、地域住民、保健福祉医療関係者が立ち寄り、交流や相談の場を提供している。	162回 1,848人	238回 3,173人
認知症講演会 **（もの忘れ相談区民公開講座）**	認知症の病気の理解、医療や介護、周囲の支援に関することをテーマに講演会を実施している。	1回	1回
徘徊高齢者位置情報サービス	徘徊のある高齢者の所在を、在宅で介護している方が確認できる、位置情報サービスの利用料金の助成をしている。	6人	6人
認知症医療連携強化 **（豊島区認知症かかりつけ医）**	豊島区医師会では、認知症を診ることのできる医師を増やすために、所定の講習を修了した医師会員を認知症かかりつけ医として登録しており、その名簿を認知症パンフレットに掲載し、周知している。	76人	83人
認知症サポーター養成講座	認知症を正しく理解し、認知症の人や家族を温かく見守る応援者（認知症サポーター）となるための講座を開催している。区主催講座と、講師が出向く出前方式の講座を実施している。	44回 1,333人	69回 2,048人
普及啓発	①広報　事業の案内や講演会などの記事を掲載している。 ②中央図書館の特集展示 ③ホームページ　認知症の病気の知識や支援事業の案内をしている。	情報版コラム連載4回 8/26～9/22	4分の1スペース 1回 8/26～9/21
地域包括支援センターでの相談	専門知識を持つ社会福祉士・保健師・主任介護支援専門員が、高齢者やその家族からの、福祉サービスや介護保険、介護予防などの相談に応じている。		

Ⅵ 介護予防事業の実施状況

平成２８年度より「介護予防・日常生活支援総合事業」（総合事業）が始まり、６５歳以上の高齢者であれば心身の状況等によって分け隔てなく、一般介護予防事業対象となった。一般介護予防は、住民主体の通いの場を充実させ、継続的に拡大していくような地域づくりを推進するとともに、生きがいや役割をもって生活できる地域の構築することにより、介護予防を推進していくことを目的としている。

１. 通いの場の充実

(1)「介護予防サロン」

事業名	事業概要	実施回数・参加実人数
介護予防サロン事業	地域の閉じこもりがちの高齢者が気軽に参加できるサロンを月1回程度開催。	14か所（215回）　2，263人 内訳［包括　8か所（118回）　1，617人 NPO　6か所（107回）　646人］

(2)「自主グループ活動」

朗読や絵本読み聞かせ等の自主グループの他、講師と生徒の関係ではなく、誰でも何処でも住民が自主的に継続してできる「としまる体操」の活用の場を広げ、自主グループを増やしていく。また、自主グループ化した後は、イベントで発表の機会を設けるなど、更に活動の拡大を図る。

主な活動内容	活動グループ数
としまる体操	31グループ
その他（朗読、絵本読み聞かせ等）	7グループ

２. 介護予防の担い手の育成

介護予防活動で自主グループ化を目指す際、率先して地域住民に声かけや活動の取りまとめを行う担い手が必要となるため、「介護予防サポーター」と「介護予防リーダー」の育成を行っている。

事業名	事業概要	登録者数
介護予防サポーター	高齢者が自身の介護予防の理解を深め、活躍の場を広げることを目的とし、シニア世代の互助機能を高める役割を担う人材の育成。	95人
介護予防リーダー	健康寿命延伸のための介護予防推進とシニア世代の役割の創出を目的とし、課題発見型地域づくりを担うリーダーを養成する。平成 29 年度は養成講座は行わず、介護予防リーダー養成講座修了者フォローアップ研修を実施した。	0人

３. 体験型プログラム等

事業名	事業概要	実施回数・参加実人数
運動プログラム事業	○高齢者マシントレーニング 高齢者用マシンを使用して、筋力、筋持久力、柔軟性を高める。	8クール＜64回＞ 91人
	○筋力アップ教室 転倒しない身体作りを目指して、足、腰、腹部の筋力アップを図る体操。	10クール＜80回＞ 125人
	○高齢者水中トレーニング 水中歩行、水中負荷による体操を行い、運動機能の向上維持を目指す。	6クール＜48回＞ 58人
認知症予防プログラム事業	○シニアのためのウォーキング教室 ウォーキングが脳と身体にもたらす効果について学びながら実践を行い、認知症の予防を目指す。	2クール＜8回＞ 17人
	○絵本読み聞かせ講座 絵本の読み聞かせを行うことで脳を活性化し、認知症予防を目指す。	1クール＜2回＞ 17人
介護予防推進事業	○イベント「介護予防大作戦」	1回　423人
	○おたっしゃ応援団 出前講座で、体力測定と生活機能質問票により老年症候群を早期に発見する	15回　399人
	○口腔ケア講座 歯科衛生士が唾液の分泌を促すマッサージ等の実践を行い、口腔ケアの向上を目指す。	2回　62人
	○栄養講座 管理栄養士が必要な栄養素等の具体的な講座を行い食生活の改善を目指す。	2回　47人
シニアのための測定会事業	身体・体力測定、認知機能検査（簡易）を実施し、介護予防の取り組みのきっかけづくりとする。	6回　117人
お化粧による介護予防事業	講座やお化粧教室を開催し、日常的に化粧に親しみ幸福感や外出する意欲を高める。	2回　48人
高齢者元気あとおし事業	元気あとおし会員に登録してボランティア活動をすると、活動時間に見合ったスタンプを押印する。スタンプ数に応じて現金に換金できる。	会員数　471人
食彩いきいきサロン事業	栄養バランスのとれた食事をしながら参加者同士で交流し、低栄養・閉じこもりを予防する。	6クール＜36回＞ 148人